

進捗報告書（実行団体）

事業名: 留学生・技能実習生対象「食・住・職」支援

Version 1.2

資金分配団体: 認定特定非営利活動法人日本都市計画家協会

日付: 2021年12月14日

実行団体名: 特定非営利活動法人Oneself

実施時期: 2021年6月～2022年2月

事業対象地域: 兵庫県神戸市

事業対象者: コロナで帰国困難及び進学断念等の理由がある留学生及び技能実習生。

I. 事業概要

事業概要

- ①特定活動ビザを取得したもののアルバイトが見つからず、生活費が不足している留学生に対して食料品を無償で提供する（食糧品支援）
- ②コロナで家賃が滞納し退去せざるを得ない留学生や技能実習生に対して無償で国際交流シェアハウスやどかりの空室を提供する（住環境支援）
- ③日本での就職を希望する留学生に対して特定技能ビザに向けた学習環境の提供及び企業や人材派遣会社を通しての就職活動の提供を行う（就職活動の支援）

II. 進捗報告の概要

総括

全体的には事業計画案に沿って実施できている。インターンシップの活動については当初の予定よりも業種が増え、新たな受入先を探すことになったが、神戸市がサポートをしてくれ希望に沿うインターンシップ先が提供できている。一方で、国の情勢不安もありミャンマー人留学生の申し込みが増加したり、コロナ禍でDV被害に遭う方等、当初の対象者を超過して申し込みがある。それに伴い、生活支援や行政機関との連携、専門家と相談しながら個別対応が増えている。また建設クラスについては座学と現場で理解しなければならないことにズレが生じていたり、特定技能試験の問題文が介護のように多言語化されていないこともあり、特定技能試験を受験できるレベルに達していない。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
特定技能ビザ取得に向けた試験を受験し合格するために、平日午前中4コマは日本語指導を行い、午後から曜日によって介護・建設とそれぞれ学科指導及び実技指導を行う。	日本語クラスについては、。建設クラスについては座学→実習→インターンシップという流れを当初予定していたが、専門用語多くテキストで学んでも現場の日本語結びつかないことが多く、実習・インターンシップと並行して座学を取り入れることにした。インターンシップ先が多く、希望者のほとんどが1回はインターンシップに活動ができた。介護クラスは座学をしっかりと行った後にインターンシップに参加をした。デルタ株の感染者が多く、緊急事態宣言が続いていたためインターンシップを受け入れてくださる企業がなかなか見つからなかった。その後、2か所の介護施設がインターンシップを受け入れてくれることになった。一度受け入れて頂くと事業の趣旨やインターンシップの仕組みに対する評価は好評で、来年度以降も継続したいとお声を頂いた。その他、農業や自動車整備への就職を希望する留学生もあり、新たなインターンシップ先の開拓が必要となっている。これらは神戸市国際課及び農水産課とも連携し、インターンシップ先を確保できる状況にある。農業インターンシップは今月中には実施可能となった。また自動車整備については兵庫区内のディーラーと打ち合わせを行うことになっている。そのほか日本語でのコミュニケーションを目的とした活動にも参加しているが、積極的に参加する留学生が多く、地域活動を行う団体から定期的にお声がけを頂いている。

活動	進捗状況	概要
日本語・建設・介護クラスの実施。また各クラスと農業インターンシップの実施。	ほぼ計画通り	日本語クラスについては平日5日間実施している。参加している受講者の日本語レベルに差があるため、N4クラスとN3クラスは分かれて学習している。介護クラスについては座学を終え、現在はインターンシップを中心に活動をしている。緊急事態宣言が長く続いたため受入可能と言っていた施設から受入不可という連絡があったり混乱もあったが、現在は2か所の施設が受入対応を行っている。そのうち1か所はすべてのインターンシップが終わってアルバイト採用等が可能になれば、ぜひアルバイトとして採用したいという声も頂いている。外国人雇用に対する当初のイメージやコミュニケーション能力への懸念が払しょくされたとのこと。建設クラスについてはミャンマー人留学生が多く在籍している。当初は留学ビザの方を対象とはしていなかったが、ミャンマーの情勢が不安定になりコロナが収束しても帰国ができないという理由から問い合わせが急増した。そのほか農業、自動車整備を希望する留学生も在籍している。また就職支援希望や雇用に関するトラブルにより企業との話し合いに参加してほしい、行政機関に繋いでほしいという相談もあり、急速相談窓口も開設して対応している。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
<p>事業計画の時点では同事業で特定技能ビザ取得に向けた試験合格率を介護は100%、建設は80%以上と設定をした。また就職先として介護希望者全員に就職先が確保されていることとする。建設希望者については塗装・内装工等のアルバイト（特定活動ビザ）を通して特定技能ビザ取得試験に再度挑戦できるよう支援を行い、就職先の確保に努めるとしていた。現在の状況について、特定技能ビザ取得に向けた試験について介護は概ね目標通りである。一方で建設クラスの方は専門用語が多いことや特定技能介護の試験のように問題文が多言語化されておらず、座学で使用しているテキストの難しさから試験を年度内に受験できるレベルに達していない。また建設クラスのインターンシップ先とも座学で使用しているテキストを確認してもらい直近で留學生が目指すゴールとして特定技能試験合格であることを共有しているが「現場とテキスト内容が乖離している。」「テキストに書いてあることを覚えても現場では役に立たない。」という指摘があり、インターンシップ中は現場に即した内容で指示を出してもらい専門用語を理解させている。テキストで学ぶのはあくまで試験合格のための内容であると分けて理解してもらう必要があり、建設クラスの留學生からはインターンシップや実習でのやりとりは問題ないが座学になるととたんに日本語がわからなくなり、試験合格が必須だと考えると建設は難易度が高すぎるという声も出ている。</p>

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥8,781,240	¥8,781,240	¥1,948,971	22%
	管理的経費	¥0	¥2,018,760	¥2,018,760	¥410,046	20%
合計		¥0	¥10,800,000	¥10,800,000	¥2,359,017	22%

補足説明	事業委託費について…1か所は12月振込、2か所は事業終了月に振込予定。
------	-------------------------------------

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>事業計画の時点では「特定活動」ビザの方を対象に実施すると考えていたが、広報を始めるとコロナ禍で配偶者からのDVに遭い、自立支援が必要な外国人からもニーズがあった。そのためシェルターを運営している支援団体とも連携し、教室に通うルートやインターンシップ先へのルートを確認し、新たな被害が発生しないようにインターンシップ先にも講師や団体スタッフが同行するようにした。また家庭内トラブルや精神的不安からの体調不良者も発生し、当初の事業計画にはなかった細かな対応が求められている。主な事例は次の通りである。ブラジル人女性から家庭内でのトラブルについて相談があった。現在「家族滞在」ビザのため夫の給料で生活をしているが、日本語教室に通う際の交通費について「無駄な出費を増やすな」と言われたそうで「日本語を勉強して仕事がしたい」と話す怒られたとのこと。その後、銀行通帳の暗証番号が勝手に変更されお金が引き出せない状況になっている。東灘区から通っているため電車以外に交通手段がなく現在日本語教室を休みがちになっており、離婚やDV等のリスクを避けるためのサポートが必要だと感じている。またベトナム人女性が精神的に不安定になっており、シェアハウス内で急に泣き出す、夜中に廊下に出て大声で話し始める等の行為が見られた。話をしても指しゃぶりをして応答する等、不可解な行動が見られるようになり、卒業した芦屋の日本語学校にも連絡。帰国も視野に入れて動くつもりだったが、ベトナムの御両親（特に母親）が留学にかかった費用の借入れ金を返済しない限りは完全帰国を拒否しており、帰国という選択肢は難航している。このように当初の実施計画では想定していなかった問題が発生したり、帰国を促したり、安全に帰国するためのサポートをすることになる等の対応が必要になった。</p>

VII. その他

自由記述
<p>大阪入国管理局神戸支局から職員の方が2名、同事業の見学に来られた。入管では「特定活動」のビザを発行した後に、当事者がどのような生活をしているのか把握する方法がなかったが、同事業のように日本で仕事を見つけてきちんと働けるようにサポートがあることは助かるというお声を頂いた。また兵庫区社会福祉協議会と連携し、生活福祉資金の貸付申請に来た外国人の方に同事業を紹介したり、神戸市国際課から神戸市内で支援活動をする団体に一斉に広報をしてもらおう等、行政機関と連携できた。〈食糧品支援〉6月…20人、7月…17人、8月…17人、9月…19人、10月…14人、11月…10人、12月…11人</p>

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	評議会はありません
2. 内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	現在準備中